

2014年4月23日

## 第670回 本委員会の主要議題と概要

日本化学繊維協会

日本化学繊維協会（会長 日覺 昭廣 東レ株式会社 代表取締役社長）は、本日11時より第670回 本委員会を開催しました。

主要議題およびその概要は以下の通りです。

1. 国際繊維シンポジウムならびに展示会等の開催について

別紙参照

（ 繊維学会/日本化学繊維協会での共同記者会見 ）

2. 日仏繊維産業協力 WG について

日仏繊維協力 WG・協力協定（Memorandum of Cooperation (MoC)）の締結、今後の活動計画について報告があった。

- ・日仏繊維協力 WG・協力協定（MoC）署名式を、来月、パリにて、日仏両国政府関係者及び民間関係者が出席して開催する方向で調整中。
- ・MoC は、日本側は、経済産業省製造産業局、日本化学繊維協会、繊維学会、フランス側は、生産復興省競争力・産業・サービス総局、テクテラ、アップテックス（※共に、仏を代表するテクニカルテキスタイルのクラスター）の6機関で締結する予定。
- ・化繊協会としては、テクニカルテキスタイル分野におけるパートナーシップの拡大や、日仏共同プロジェクトの探索に取り組むこととしている。
- ・今後の活動予定：

今年7月上旬にフランスで日仏繊維協力 WG を開催予定。

この他、10月1日の先端繊維素材シンポジウムに、テクテラ、アップテックス、及びフランス企業が多数参加する予定であり、この機会を利用してフォローアップ会合、及び BtoB ミーティングの開催を計画中。

参考：日仏産業協力委員会・日仏繊維協力 WG：日仏産業協力委員会は、1980 年代初めに、中曽根首相（当時）とバール首相（当時）との間で、当時両国の懸案となっていた「貿易摩擦」を終わらせ、建設的な両国関係を築くために「産業協力」をその中核に据えようとの趣旨で設置された日仏協議の場。2012 年 12 月開催の日仏産業協力委員会において、日 EU・EPA を円滑に進めるためにセクター別の産業協力をフランスとの間で進めるべきとの日本側の判断の下、繊維、ロボット、スマートコミュニティの 3 分野でセクター別 WG を設置することが合意され、2013 年 3 月 29 日に第 1 回日仏繊維協力 WG(キックオフミーティング) を開催した。以降、6 月 18 日にパリ、11 月 28 日に東京で、実務者レベルでのフォローアップ会合を 2 回開催している。

### 3. 北九州イノベーションギャラリーでの繊維展示会について

化繊協会が監修している、北九州イノベーションギャラリーでの繊維展示会について報告があった。

- ・化繊協会が情報発信事業の一環として取り組んでいる、北九州イノベーションギャラリーでの繊維展示会「せんいのチカラ」展が 2014 年 3 月 21 日（金）からスタートした。
- ・展示内容は、「ヒューマン（人間）」「エコロジー（循環）」「テクノロジー（技術）」「フューチャー（未来）」の 4 つをテーマとし、繊維産業に関する若年層への啓発を主眼としている。来場者が見て、触って、体験し、繊維に関する理解を深めてもらう内容となっている。この催しは 6 月 29 日（日）まで開催される。

<本件についての問い合わせ先>

担当：日本化学繊維協会 技術グループ 竹内・川名（03-3241-2312）

以上

2014年4月23日

## 国際繊維シンポジウム並びに展示会等の開催について

一般社団法人繊維学会、日本化学繊維協会

一般社団法人繊維学会（会長 平井 利博 信州大学繊維学部 教授）と日本化学繊維協会（会長 日覺 昭廣 東レ株式会社 代表取締役社長）は、国際繊維シンポジウム並びに展示会等を共同開催することを決定しました。

概要は以下の通りです。

### 1. 国際繊維シンポジウム並びに展示会の開催について

- ・2014年9月28日（日）から10月1日（水）の4日間、ビッグサイト東京ファッションタウン（東京・有明）で、繊維学会と日本化学繊維協会の共催による、国際繊維シンポジウム並びに展示会を共同で開催します。
- ・繊維学会の「創立70周年記念事業（国際シンポジウム（ISF2014）」と日本化学繊維協会の「先端繊維素材シンポジウム」のコラボレーションにより、国内外の繊維研究者、ユーザー産業等に日本の先端繊維素材の最新情報を発信し、ステータスアップを図るとともに、国際化の強化を目指します。
- ・ISF2014（International Symposium on Fiber Science and Technology 2014）は、繊維学会が20年ぶりに開催する国際会議で、世界各国から、繊維関連の主要な技術者・研究者が集結します（発表件数：約500件（予定））。
- ・ISF2014の最終日（10月1日（水））には、先端繊維素材シンポジウム（第2回）を開催します（※詳細は後述）。
- ・国際繊維シンポジウム開催期間中、一部ホールを使って、「新繊維技術展示会」を開催します（総面積：約600㎡（予定））。企業、大学・研究機関等による展示の他、日本化学繊維協会による先端繊維素材の企画展示を行い、実物に触れ、最新情報を入手できるコーナーとします。
- ・この他、9月30日（火）には、文化学園大学のご協力によるファッションショーをお楽しみいただきます。
- ・産学官の力を結集して、日本の先端繊維を盛り上げるイベントとします。

## 2. 先端繊維素材シンポジウム並びに Web 展示会について

- ・日本化学繊維協会は、昨年、「日本化繊産業の先進性と先端繊維素材の未来社会への貢献」をテーマにした新たな発信事業として、「先端繊維素材シンポジウム」と「先端繊維素材展示会（Web 展）」を開催しました。
- ・先端繊維素材シンポジウム（第 1 回）は、ユーザー企業、技術者・研究者等に向けて、先端繊維の最新情報を発信し、周知することを目的として、2013 年 2 月 19 日に日経ホールで開催。Web 展示会（第 1 回）は、化繊 10 社と関係団体が参加して、2013 年 1 月 21 日から 3 月 31 日まで、インターネット上の特設サイトで開催しました。
- ・シンポジウム、Web 展示会ともに予想以上の参加・来場があり、先端繊維素材への関心の高さと手ごたえを感じることができたことから、この度、前回からスケールアップした内容で、2 回目を開催することを決定しました。
- ・第 2 回開催の特徴は、先端繊維素材シンポジウム、Web 展示会とも、国内のみならず、海外にも目を向けて情報発信することです。
- ・先端繊維素材シンポジウム（第 2 回）は、繊維学会と共催することによって、産学連携によるオールジャパンの取組みとするとともに、海外への発信力の強化を狙います。
- ・また、シンポジウム開催期間中、展示ブースを設置して、先端繊維素材の実物、最新情報をご覧いただけるようにする他、「B to B」の仕掛けづくりも行います。
- ・Web 展示会（第 2 回）は、先端繊維の内外ユーザーとのコミュニケーションの場と位置付けて、ユーザー産業の技術・開発系の方々を中心に、各社の素材・商品をアピールします。今回は、英語版 Web サイトを追加制作するなど、シンポジウムと同様に、海外向け発信力を強化します。また、前回好評だった検索機能をさらに充実させて、必要な情報が容易に入手できる展示会を目指します。

## 3. その他

- ・ISF2014、先端繊維素材シンポジウムとも事前の参加登録が必要となります。登録受付は、後日、繊維学会、日本化学繊維協会の Web サイト等で開始します（※受付の準備が整い次第、お知らせします）。
- ・新繊維技術展示会の申込みは 5 月 31 日迄受付中です。（※展示会の詳細及び展示申込みは、繊維学会 Web サイト（<http://www.fiber.or.jp/jpn/index.html>）からお願いします。）

以上